

3. 参考資料（調査票）

「第3次熊本市環境総合計画」に関する市民アンケート

■調査ご協力をお願い

日頃から、本市の環境保全のための取り組みにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このアンケートは、平成23年3月に策定された「第3次熊本市環境総合計画」の進捗状況を管理し、今後の施策の展開に役立てるために行うものです。

なお、本アンケート調査は、本市の住民基本台帳に登録されている満20歳以上の市民の中から無作為に抽出した3,000人の方々にお送りさせていただいております。

回答内容は全て統計的に処理し、個人が特定されたり、ご迷惑をお掛けしたりすることはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。

※「第3次熊本市環境総合計画」は、熊本市本庁舎の情報公開窓口及び環境政策課、又は各区役所、各総合出張所及び出張所でご覧になれます。

又は、市のホームページ（<http://www.city.kumamoto.jp/>）でもご確認いただけます。

■アンケートの回答方法について

- ・回答は、封筒の宛名の方がお答えください。（代筆でも結構です。）
- ・回答は、黒の鉛筆又はボールペンでアンケート用紙に記入してください。
- ・アンケート用紙及び返信用封筒には、お名前とご住所の記入は不要です。
- ・アンケート用紙の2ページ目以降を、同封の返信用封筒にて、平成30年2月2日（金）までに投函してください。（切手は不要です。）

■お問い合わせ先

熊本市役所 環境局 環境政策課

電話：096-328-2427

FAX：096-359-9945

電子メール：kankyouseisaku@city.kumamoto.lg.jp

ご回答いただく前にお読みください。

熊本市では、平成23年3月に策定した「第3次熊本市環境総合計画」において、計画の環境目標（基本計画）と重点的に取り組む施策として、「ひとづくり・まちづくりプロジェクト」を掲げています。

計画の環境目標（基本計画）とは、本市が目指す都市像である「未来につなぎ、世界に誇れる環境文化都市」の実現に向けた具体的な方向性を示すものとして、5つの環境目標が設定されており、総合的・体系的に施策に取り組むものです。

「ひとづくりプロジェクト」とは、市民の皆様が環境保全行動を実践するためには、まず環境保全の意識を高めることが重要であるとの考えのもとに、様々な年代・性別・ライフステージにおいて、地球環境や地域の環境課題について考える機会を提供し、自発的な環境保全行動につなげていただくための取り組みのことで、さらにはその行動を、家庭や地域など社会全体に広げていくため、人材の育成や活動の場の提供を行っていきたいと考えています。

「まちづくりプロジェクト」とは、これまで環境保全活動に取り組んできたのは、環境意識の高い市民や地域の役員、市民活動団体など、一部の限られた人たちであったこと、また、活動を行いたいと思っても活動の場がなかったり、方法が分からなかったりなどの問題の解決を図ることが必要であるとの考えのもと、より多くの市民の皆様が環境保全活動を活発に行えるような情報の提供を行い、様々な主体の協働体制を促進する取り組みのことで、

そこで、環境目標（基本計画）やプロジェクトを進めていくための参考とさせていただくため、設問1では「熊本市内の環境問題」について、設問2～4では「熊本市の環境目標（基本計画）について」、設問5～10では「ひとづくりプロジェクト」について、設問11～16では「まちづくりプロジェクト」に関することについてお伺いさせていただきます。

また、設問17以降では、新たに市民のみなさまの現況を調査するために追加した設問となっております。

〈回答方法〉

*設問の答えとして、あなたご自身のこと、またはあなたのお考えにあてはまる選択肢の番号に丸（○）をつけてください。

*設問番号に枝番がついていないものは、全員がご回答ください。

（例）問2 この1年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。

*設問番号に枝番がついているものは、条件に該当する方だけご回答ください。

（例）問2-2 問2で「参加した」と答えられた方にお尋ねします。

次のページより、設問が始まります。

次ページからの本設問の前に、以下の設問にお答えください。

「熊本市内の環境問題」について

問1. 現在の熊本市内の環境の現状について、あなたが問題と思われることについて下記（10項目）から一つだけ選んでください。

- 1 自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ
- 2 地下水の状況（水質や量）
- 3 ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況
- 4 地球温暖化防止のための、省エネルギーの推進（太陽光等の再生可能エネルギーの推進）
- 5 まちなみ景色の美しさや、公園や緑地の多さ
- 6 大気の状態
- 7 河川など水辺の美しさ・清潔さ
- 8 生活環境の快適さ（騒音や振動、悪臭などがないか）
- 9 環境に配慮した道路、歩道などの整備
- 10 環境について学ぶ機会や情報を得る機会（環境保全イベント等の開催）

問1-1. あなたが、問1で選択された問題について、どのようなことが問題とされますか。ご自身のお考えを具体的に記入してください。

I 回答者ご自身や地域の環境保全活動等についてお聞きします。

「熊本市の環境目標（基本計画）」について

問 2. あなたは、熊本市の良好な環境（生活・自然環境全般）が守られていると感じますか。（1つだけ）

- 1 とても感じる
- 2 やや感じる
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり感じない
- 5 全く感じない

問2-1. 問2で「3 どちらともいえない」「4 あまり感じない」「5 全く感じない」と答えられた方にお尋ねします。

どのような理由から、そう思われますか。具体的に記入してください。

3, 4, 5の理由

()

問 3. あなたは、熊本市民の共有財産である地下水が、市民、事業者、行政の保全活動により守られていると感じますか。（1つだけ）

- 1 とても感じる
- 2 やや感じる
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり感じない
- 5 全く感じない

問4. あなたは、熊本市の街なかに緑が多いと感じますか。（1つだけ）

- 1 とても感じる
- 2 やや感じる
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり感じない
- 5 全く感じない

問5～10「ひとづくりプロジェクト」について

問5. あなたは日ごろ、環境保全のため次問（問5-1）のような実践活動を行っていますか。（1つだけ）

- 1 常に行っている
- 2 時々行っている
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり行っていない
- 5 全く行っていない

問5-1. 問5で選択肢1～4と答えられた方にお尋ねします。

次の環境保全の実践項目の中で、あなたが行っていることをすべて選んでください。（いくつでも可）

- 1 照明やテレビをつけっぱなしにしない
- 2 エアコンを適切な温度に設定し、ムダな使用をしない
- 3 水道の蛇口の開閉をこまめにする
- 4 買い物の際にはエコ商品を選ぶ
- 5 レジ袋を断り、マイバッグを使う
- 6 家電製品などを買うときには、省エネルギータイプのものを選ぶ
- 7 マイカーの使用を控え、電車やバスを利用する
- 8 自動車を運転するときには、エコドライブをする
- 9 ごみ分別を徹底するなど、ごみ減量に努めている

問6. 環境について学ぶ機会（学習会やイベント等）が増えてきたと感じますか。（1つだけ）

- 1 感じる
- 2 やや感じる
- 3 感じない

問7. この1年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。（1つだけ）

- 1 参加した
- 2 参加していない

問7-1. 問7で「1 参加した」と答えられた方にお尋ねします。

この1年以内で、どのような、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。(複数回答可)

1 自治会・老人会・PTA等の学習会
2 NPOや企業が主催する講座・講演会・セミナー等
3 行政が主催する講座・講演会・セミナー等
4 学校や職場で行われる勉強会
5 環境フェアなどのイベント
6 その他 ()

問7-2. 問7で「1 参加した」と答えられた方にお尋ねします。

参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動(活動)はありますか。また、あるとしたらどういったことですか。(1つだけ)

1 ある(実践している内容について、簡単にご記入ください。)
()
2 ない(実践していない理由について特に何かある場合は記入してください。)
()

問7-3. 問7で「2 参加していない」と答えられた方にお尋ねします。

参加しなかった理由は何ですか。(複数回答可)

1 時間がなかったため
2 経済的な負担が増加するため
3 学習会やイベントの開催情報がなかったため
4 興味がなかったため
5 その他 ()

問8. 今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。(複数回答可)

- 1 日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの
- 2 環境問題について基礎的な知識が学べるもの
- 3 省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの
- 4 身近な地域の環境について学べるもの
- 5 国際的な環境問題について学べるもの
- 6 その他 ()

問9. どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したいと思いますか。(複数回答可)

- 1 自分の都合に合わせて、短時間で参加できる
- 2 小学校や公民館など、身近な場所で開催される
- 3 無料で参加できる
- 4 気軽に参加することができる
- 5 専門的な知識を身につけることができる
- 6 友人や家族と一緒に参加することができる
- 7 その他 ()

問10. 市民の環境保全意識を高めるために、市としてどのような取組を行えば効果的だと思いますか。(複数回答可)

- 1 学習会や講演会などの開催
- 2 学校や社会における環境教育の充実
- 3 環境活動の指導者や地域リーダーの育成
- 4 環境に関する情報を入手できる場の提供
- 5 体験学習など自然に触れる機会の提供
- 6 環境に関する広報などの強化
- 7 環境保全活動に貢献した市民や団体の表彰
- 8 身近な地域の環境保全について考える機会の提供
- 9 その他 ()

問1 1～1 6「まちづくりプロジェクト」について

問1 1. 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。(1つだけ)

※ 例：緑化活動、清掃活動、環境学習に関する活動など

- 1 感じる
- 2 やや感じる
- 3 感じない

問1 2. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1つだけ)

- 1 積極的に参加している
- 2 できる限り参加している
- 3 参加したことはないが、今後してみたい
- 4 参加したことはないし、今後もしたいと思わない

問1 2-1. 問1 2で「1 積極的に参加している」又は「2 できる限り参加している」と答えられた方にお尋ねします。

どのような団体の活動に参加していますか。(複数回答可)

- 1 町内自治会
- 2 PTA
- 3 NPO
- 4 老人会
- 5 婦人会
- 6 子ども会
- 7 自分たちで立ち上げた活動グループ
- 8 その他 ()

問12-2. 問12で「1 積極的に参加している」又は「2 できる限り参加している」と答えられた方にお尋ねします。

現在、地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。(複数回答可)

- 1 自然林や野生生物の自然保護活動
- 2 自然観察会の開催
- 3 植樹などの緑化活動
- 4 森林保全活動
- 5 地下水の保全活動
- 6 河川環境保全活動
- 7 清掃活動
- 8 ごみステーションの管理
- 9 リサイクルや資源回収活動
- 10 歴史的文化遺産の保全活動
- 11 環境問題に関する講演会・勉強会の開催
- 12 環境保全のための寄付
- 13 その他 ()

問12-3. 問12で「3 参加したことはないが、今後してみたい」と答えられた方にお尋ねします。

どのような団体の活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

- 1 町内自治会
- 2 PTA
- 3 NPO
- 4 老人会
- 5 婦人会
- 6 子ども会
- 7 自分たちで立ち上げた活動グループ
- 8 その他 ()

問12-4. 問12で「3 参加したことはないが、今後してみたい」と答えられた方にお尋ねします。

今後、どのような環境保全活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

- 1 自然林や野生生物の自然保護活動
- 2 自然観察会の開催
- 3 植樹などの緑化活動
- 4 森林保全活動
- 5 地下水の保全活動
- 6 河川環境保全活動
- 7 清掃活動
- 8 ごみステーションの管理
- 9 リサイクルや資源回収活動
- 10 歴史的文化遺産の保全活動
- 11 環境問題に関する講演会・勉強会の開催
- 12 環境保全のための寄付
- 13 その他 ()

問12-5. 問12で「4 参加したことはないし、今後もしたいと思わない」と答えられた方にお尋ねします。

参加したいと思わない理由は何ですか。(複数回答可)

- 1 時間がないため
- 2 興味がないため
- 3 メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため
- 4 活動の効果があると思わないため
- 5 その他 ()

問13. どのような条件が整えば、より多くの方がまちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。(複数回答可)

- 1 環境問題についての知識・情報の普及がはかれること
- 2 環境問題を実際に感じられること(地域の川が昔より汚くなった、など)
- 3 周りを活動に巻き込んでいく中心人物がいること
- 4 実際に活動を行っている人たちの活動内容・成果などが分かること
- 5 日常生活の中で気軽に取り組めること
- 6 付加価値(エコポイント等)があること
- 7 その他 ()

問14. 地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。(複数回答可)

- | |
|-------------------------------|
| 1 環境問題についての知識・情報の提供 |
| 2 活動のアドバイザーや講師などの派遣 |
| 3 会議室等、場所の提供 |
| 4 他の市民活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供 |
| 5 活動資金の助成 |
| 6 その他 () |

問15. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。(11を除き、複数回答可)

- | |
|-------------------|
| 1 テレビやラジオ |
| 2 新聞、雑誌、書籍など |
| 3 家族や友人、知人との会話 |
| 4 行政からの白書、広報紙など |
| 5 インターネットや携帯電話 |
| 6 講演会や学習会 |
| 7 地域活動やボランティアを通じて |
| 8 NPOからの情報提供 |
| 9 企業からの情報提供 |
| 10 その他 () |
| 11 情報を得ていない |

問16. 環境に関する情報について、今後求めたいもの(不足しているもの)は何ですか。(複数回答可)

- | |
|---------------------------|
| 1 環境に関する一般知識 |
| 2 日常生活の中で行える環境保全のための取組方法 |
| 3 環境に関するイベントや学習会の情報 |
| 4 市民活動団体などによる環境活動の情報 |
| 5 環境に関する調査の結果 |
| 6 環境に関する補助金の情報 |
| 7 国際的な環境の情報や交流の情報 |
| 8 環境活動のアドバイザーや講師など人材の派遣情報 |
| 9 身近な地域の環境に関する情報 |
| 10 その他 () |

「生物多様性」について

近年、生物多様性に対する関心が国際的に高まっており、2010年には「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」が名古屋で開催されました。

第3次熊本市環境総合計画においても、目標のひとつとして「人と生きもののつながりについて学び、まもる」ことを掲げており、生物多様性についての知識の啓発や、生物多様性をまもるための自然環境の保全などの取り組みを行っていくこととしております。

そこで、これらの取り組みの進捗状況を計るための指標とするため、次の設問にお答えください。

問17. 「生物多様性」について知っていますか。（1つだけ）

- 1 言葉も意味も知っている
- 2 言葉は知っているが、意味はよく知らない
- 3 知らない

※生物多様性とは・・・

生物にはいろいろな種がいて（種の多様性）、それらの種内にはいろいろな個性を持った個体がいること（種内の多様性）、さらには、いろいろな生活環境があること（生態系の多様性）をいいます。

これらの多様性は、私たち人間にも食糧や医療品、または文化的な価値など多くの恵みをもたらしています。また、多様な生物が存在することで自然界はバランスを保っています。

しかし近年、地球温暖化や外来生物の持ち込みなどによって、生物多様性は危機にさらされています。この生物多様性を保全するために、様々な取り組みが世界中で行われています。熊本市においても、生物多様性についての知識の啓発や、水辺環境や緑地の保全など、自然と共生する豊かなまちづくりに取り組んでいます。

ごみ問題への関心と地域におけるごみ出しマナーについて

問18. ごみ減量やリサイクルなどのごみ問題に関心がありますか。(1つだけ)

- 1 非常に関心がある
- 2 やや関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 関心がない

問19. 現在の熊本市のごみ出しルールを守っていますか。(1つだけ)

- 1 きちんと守っている
- 2 だいたい守っている
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり守っていない
- 5 全然守っていない

「COOL CHOICE」について

問20. 「COOL CHOICE」について知っていますか。(1つだけ)

- 1 言葉も意味も知っている
- 2 言葉は知っているが、意味はよく知らない
- 3 知らない

※「COOL CHOICE」とは・・・

「COOL CHOICE」とは、2030年の温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のために、日本が世界に誇る省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動です。

例えば、エコカーを買う、エコ住宅を建てる、エコ家電にするという「選択」、高効率な照明に替える、公共交通機関を利用するという「選択」、クールビズをはじめ、低炭素なアクションを実践するというライフスタイルの「選択」のことを言います。

※出典：2030年まで継続する新国民運動「COOL CHOICE（クールチョイス）」を開始します。(平成27年6月環境省報道発表資料)

「ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）」について

問21. 「ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）」について知っていますか。（1つだけ）

- 1 よく知っている
- 2 少しは知っている
- 3 言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない
- 4 言葉を聞いたこともなく、まったく知らない

※「ZEH」とは・・・

ZEH（ゼッチ）（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは、住宅の高断熱化と高効率設備により、快適な室内環境と大幅な省エネルギーと同時に実現した上で、太陽光発電等によってエネルギーを創り、年間に消費する正味（ネット）のエネルギー量が概ねゼロ以下となる住宅です。

国は、2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までに新築住宅の平均でZEHの実現を目指しています。

問22. 「ZEH」について具体的にどのようなことが知りたいですか。（複数回答可）

- 1 どのくらいの費用（導入・維持コスト）がかかるのか
- 2 どのくらい光熱費が下がるのか
- 3 ZEHを建てるメリットは何か（光熱費以外）
- 4 ZEHの情報を取得できる場所はどこか
- 5 国や自治体の補助金に関する情報

「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」について

問23. 「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」を知っていますか。また、どのくらい関心を持っていますか。（1つだけ）

- 1 計画を知っており、関心もある
- 2 計画を知っているが、あまり関心がない
- 3 計画を知らなかったが、関心を持った
- 4 計画を知らなかったし、あまり関心もない

※「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」とは・・・

近年の異常気象が引き起こす集中豪雨による洪水、熱中症多発の原因といわれる地球温暖化を防止するため、本市の地域特性を活かした具体的な取組等について定めた計画です。平成26年度に改訂し、「市民の具体的な取組」を掲載して、身近な温暖化対策についても紹介しています。

「レジ袋削減」について

問24. 買い物に行くとき「マイバッグ」などを持参していますか。(1つだけ)

- 1 いつも持参している
- 2 時々持参している
- 3 ほとんど持参していない
- 4 全く持参していない

問24-1. 問24で「3 ほとんど持参していない」「4 全く持参していない」と答えられた方にお尋ねします。

どのような理由から、マイバッグを持参していないのですか。(複数回答可)

- 1 マイバッグの持参が面倒だから
- 2 レジ袋をごみ袋などとして再利用するから
- 3 レジ袋の配布はお店の当然のサービスだから
- 4 デザインなどが気に入るマイバッグがないから
- 5 万引きなどを疑われることが嫌だから
- 6 その他 ()

問25. レジ袋削減を進めるには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答可)

- 1 レジ袋有料化(無料配布中止)
- 2 店でのサービスポイントなどの方法で進める
- 3 店頭でのポスター掲示やのぼり旗などによる広報啓発
- 4 自治体や環境団体等によるマイバッグキャンペーンの実施
- 5 その他 ()

問26. 熊本市におけるレジ袋削減に向けた取組に関する協定について知っていますか。(1つだけ)

- 1 取組内容などよく知っている
- 2 協定を締結しているお店ぐらいいは知っている
- 3 言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない
- 4 言葉を聞いたこともなく、全く知らない

※レジ袋削減について

スーパーなどで使用されるレジ袋は、日本だけで、年間約300億枚、1人あたりにすると年間300枚程度使用していることとなります。レジ袋の製造・廃棄(焼却)の過程で発生するCO₂は年間約180万トンと言われ、レジ袋の削減は、市民が身近にできるごみ減量対策であり、また、地球温暖化対策です。

熊本市では、レジ袋の無料配布を中止するなどレジ袋削減に取り組む事業者と協定を締結し、支援することで、レジ袋削減を推進しており、年間約3,000万枚(ドラム缶約2,800本分の原油)のレジ袋を削減しています。

Ⅱ 回答者ご自身についてお聞きします。

1. 性別

1 男	2 女
-----	-----

2. 年齢

1 20歳代	2 30歳代
3 40歳代	4 50歳代
5 60歳代	6 70歳代
7 80歳代	

3. 職業

1 会社員
2 自営業
3 農林漁業
4 公務員
5 学生
6 無職
7 その他 ()

4. お住まいの地区（回答欄に○をつけてください。）

居住区	居住地区（小学校区）
1 中央区	出水、出水南、一新、大江、帯山、帯山西、黒髪、慶徳、向山、壺川、五福、白川、城東、砂取、硯台、託麻原、白山、春竹、本荘
2 東区	秋津、泉ヶ丘、画図、尾ノ上、健軍、健軍東、桜木、桜木東、託麻北、託麻西、託麻東、託麻南、月出、長嶺、西原、東町、山ノ内、若葉
3 西区	池田、池上、小島、春日、河内、城山、城西、白坪、高橋、中島、花園、古町、芳野
4 南区	飽田西、飽田東、飽田南、奥古閑、川口、川尻、隈庄、城南、杉上、銭塘、田迎、田迎西、田迎南、富合、豊田、中緑、日吉、日吉東、御幸、力合、力合西
5 北区	麻生田、植木、川上、楠、桜井、山東、清水、城北、高平台、田底、龍田、龍田西、田原、大和、西里、楡木、菱形、北部東、武蔵、山本、弓削、吉松

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

くまもとの環境 別冊

「第3次熊本市環境総合計画」に関する
市民アンケート調査報告書
【平成29年度版】

発行 平成30年9月
編集 熊本市環境局環境推進部環境政策課
熊本市中央区手取本町1番1号
TEL 096-328-2427
